

2021年10月1日


第20回「このミステリーがすごい！」大賞決定

大賞受賞者は**企業内弁理士**！特許制度という**独占ゲーム**を繰り広げる、**新感覚ミステリー**！

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が主催する、第20回『このミステリーがすごい！』大賞の受賞作が決定しました。

応募総数468作品の中から、1次選考(23作品通過)、2次選考(8作品通過)を経て、第20回『このミステリーがすごい！』大賞は、南原詠(なんばら・えい)氏『バーチャリティ・フォール』が受賞しました。また文庫グランプリには鴨崎暖炉(かもさき・だんろ)氏(応募時ペンネーム:金平糖)『館と密室』が選ばれました。大賞賞金は1200万円、文庫グランプリ賞金は200万円で、2作品は2022年1月から順次、書籍化する予定です。

受賞者のインタビューも可能ですので、ぜひご検討いただけますと幸いです。『このミステリーがすごい！』大賞は、これからも新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与してまいります。


 大賞 なんばら えい 南原詠『バーチャリティ・フォール』
2022年1月 刊行予定

※刊行時、タイトルが変わる場合があります

※受賞者の生年月は、年齢のご確認にのみご使用ください

【あらすじ】

かつて企業の特許権侵害を暴いて荒稼ぎしていた大鳥小夜は、足を洗って、特許権侵害を「警告された企業を守る」専門の特許法律事務所を設立。映像技術の特許権侵害を警告され、活動停止を迫られる人気VTuberを救うべく奔走するも追い込まれた小夜は、いちかばちかの秘策に……。特許の専門家・弁理士の豪腕が炸裂する企業ミステリー！

大賞
賞金 **1200万円**



人類の技術進歩を裏から支える特許制度を、もっと世の中に広めたい、なんて高尚な意図は微塵もありません。**特許制度とは、600年以上も前から存在している「独占ゲームのルール」です。このルールで、おおいに遊んでやろうと思って書きました。**

主人公たちと敵たちが、ルールに基づき攻撃と防御を繰り広げる、いわば知的スポーツのお話です。楽しんで観戦してもらえれば幸いです。

【著者プロフィール】

南原 詠(なんばら・えい)
1980年12月生まれ。東京都目黒区出身。東京工業大学大学院修士課程修了。元エンジニア。現在は企業内弁理士として勤務。

▼試し読みはこちらから！

<https://konomys.jp/information/first-vol20/11384.php>



文庫グランプリ受賞作は
2ページへ

●ビジネス小説的な(『半沢直樹』的な)駆け引きと、リーガルサスペンス的なロジックと、VTuberという旬の題材の魅力が融合して、たいへんスリリングかつユニークなミステリーに仕上がっている。(大森 望/翻訳家・書評家)

●キャラクターがみな生き生きしていて、特許権侵害の事前交渉専門の弁理士という職業も新鮮、構成もしっかりしている。特許にまつわる法律のあれこれも「なるほど」と思わせ、絶対不利に思える状況をどう解決するのかで読ませる。(瀧井朝世/ライター)



1つの事件をきっかけに、密室殺人が多発するパラレル日本が舞台
 — 密室が解けなければ、殺人は裁かれない

密室づくしの王道本格ミステリー!

【あらすじ】

密室殺人が多発するようになった現代日本。とあるミステリー作家が遺した「雪白館」というホテルを訪れた高校生の葛白香澄は、宿泊客の一人が密室内で殺されているのを発見した。館に通じる唯一の橋が落とされ、孤立した状況で密室殺人が相次ぐなか、再会した中学時代の同級生・蜜村漆璃は次々と密室の謎を解いていく。

文庫グランプリ
 賞金 **200**万円

密室殺人を扱うとなると、どうしても「犯人は何故現場を密室にしたのか」という謎がセットになるかと思うのですが、本作ではそこを逆手に取って、そのホワイダニット自体が生まれない世界観——つまり、すべての犯人にとって密室を作ることに意味があるような世界観を構築してみました。

クローズドサークルと化した館に、大量の密室殺人、天才的な頭脳をもった名探偵と、王道の本格ミステリーを目指しております。密室に詳しい方もそうでない方も楽しめるような作品になればと思っておりますので、是非お手に取っていただくと嬉しいです。

※刊行時、タイトルが変わる場合があります

※受賞者の生年月は、年齢のご確認にのみご使用ください

【著者プロフィール】

鴨崎 暖炉 (かもさき・だんろ)

1985年3月、山口県宇部市生まれ。東京理科大学理工学部卒業。現在はシステム開発会社に勤務。



▼試し読みはこちらから!

https://konomys.jp/information/first-vol_20/11237.php



●連発される密室トリックの中ではドミノの密室がイチ推し。本格ミステリー刊行ラッシュの中に割って入るだけの力はあるようだ。(大森 望/翻訳家・書評家)

●密室殺人尽くし趣向が楽しい。主役の二人を始めキャラ設定もいかにもマニアックでかつ軽快。(香山二三郎/コラムニスト)

●これでもかというくらい密室ネタを盛り込んで、遊び心たっぷり。探偵役となる少女も謎めいていて魅力的だ。登場人物の名前などユーモアもたっぷり。(瀧井朝世/ライター)

「このミステリーがすごい！」大賞とは？

『このミステリーがすごい！』大賞は、ミステリー&エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した新人賞です。これまで、第153回直木賞受賞者の東山彰良氏や、累計1066万部突破の『チーム・バチスタの栄光』シリーズの海堂尊氏、音楽ミステリー『さよならドビュッシー』や社会派ミステリー『護られなかった者たちへ』で知られる中山七里氏などの作家を輩出してきました。また、志駕晃氏の『スマホを落とただけなのに』シリーズなど、映像化作品も多数世に送り出しています。さらに、受賞には及ばなかったものの、将来性を感じる作品を「隠し玉」として書籍化。岡崎琢磨氏の『珈琲店タレーランの事件簿』シリーズをはじめ、「隠し玉」からもベストセラー作品が多く生まれています。



過去の受賞者には、ミリオンセラー作家や直木賞受賞者が！

2021年1月発売！第19回大賞受賞作品
シリーズ累計48万部を突破！

第19回大賞受賞 『元彼の遺言状』

新川帆立(しんかわ・ほたて)

1991年2月生まれ。アメリカ合衆国テキサス州ダラス出身、宮崎県宮崎市育ち。東京大学法学部卒業後、弁護士として勤務。第19回『このミステリーがすごい！』大賞で大賞を受賞し、『元彼の遺言状』で2021年にデビュー。現在は作家として活動。



『元彼の遺言状』
 発売日：2021年1月8日
 定価：1540円(税込)

「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という元彼の奇妙な遺言を受け、女性弁護士が依頼人と共謀して分け前を狙う遺産相続連続ミステリー！

彼女が転職するたび、その企業は必ず倒産する——婚活にむむぶりっ子弁護士・美馬玉子と、高飛車な弁護士・剣持麗子がタッグを組み、謎の連続殺「法人」事件に挑む！



『倒産続きの彼女の彼女』
 発売日：2021年10月6日
 定価：1540円(税込)



©ホンゴユウジ



第4回大賞受賞 『チーム・バチスタの栄光』

海堂 尊(かいどう・たける)

1961年、千葉県生まれ。医学博士。第4回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作『チーム・バチスタの栄光』にて2006年デビュー。2008年から2014年にかけて、同シリーズが映画化＆連続ドラマ化。

ミリオンセラー作家
 シリーズ累計
1066万部突破！
 2008年～
映画化&ドラマ化



第8回大賞受賞『さよならドビュッシー』

中山七里(なかやま・しちり)

1961年、岐阜県生まれ。『さよならドビュッシー』にて第8回『このミステリーがすごい！』大賞受賞。2013年には橋本愛主演で同作が映画化。2016年には黒島結菜・東出昌大主演でドラマ化。2017年9月には『連続殺人鬼カエル男』の主要キャラクター・渡瀬が主人公となる『テミスと剣』(文藝春秋)が上川隆也主演でドラマ化。

2016年～
TVドラマ&映画化
 『さよならドビュッシー』シリーズ
累計146万部突破



第1回大賞受賞 『逃亡作法 TURD ON THE RUN』

東山彰良(ひがしやま・あきら)

1968年、台湾生まれ。福岡県育ち。第1回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作『逃亡作法 TURD ON THE RUN』にて2003年デビュー。『路傍』(集英社)にて第11回大藪春彦賞を受賞。『流』(講談社)にて第153回直木賞を受賞。

第153回
直木賞
受賞作家



第10回隠し玉『珈琲店タレーランの事件簿』

岡崎琢磨(おかざき・たくま)

1986年、福岡県生まれ。京都大学法学部卒業。2012年第10回『このミステリーがすごい！』大賞隠し玉として『珈琲店タレーランの事件簿 また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を』でデビュー。同書は2013年、第1回京都本大賞に選ばれた。

シリーズ累計
255万部突破



第15回隠し玉『スマホを落としただけなのに』

志駕 晃(しが・あきら)

1963年生まれ。神奈川県横浜市在住。明治大学商学部卒業。ニッポン放送入社後、「ウッチャンナンチャンのオールナイトニッポン」「中居正広のSome girl」SMAPなど多数のラジオ番組制作に関わる。第15回『このミステリーがすごい！』大賞の隠し玉として『スマホを落としただけなのに』で、2017年にデビュー。

2018年～
映画化
 シリーズ累計
106万部突破